

みやちょう
宮町遺跡現地公開 資料

平成30年1月6日(土)
大阪府教育庁文化財保護課

宮町遺跡は、古墳時代から奈良・平安時代の集落跡です。昨年度と今年度の調査により、集落の様子が分かりました。

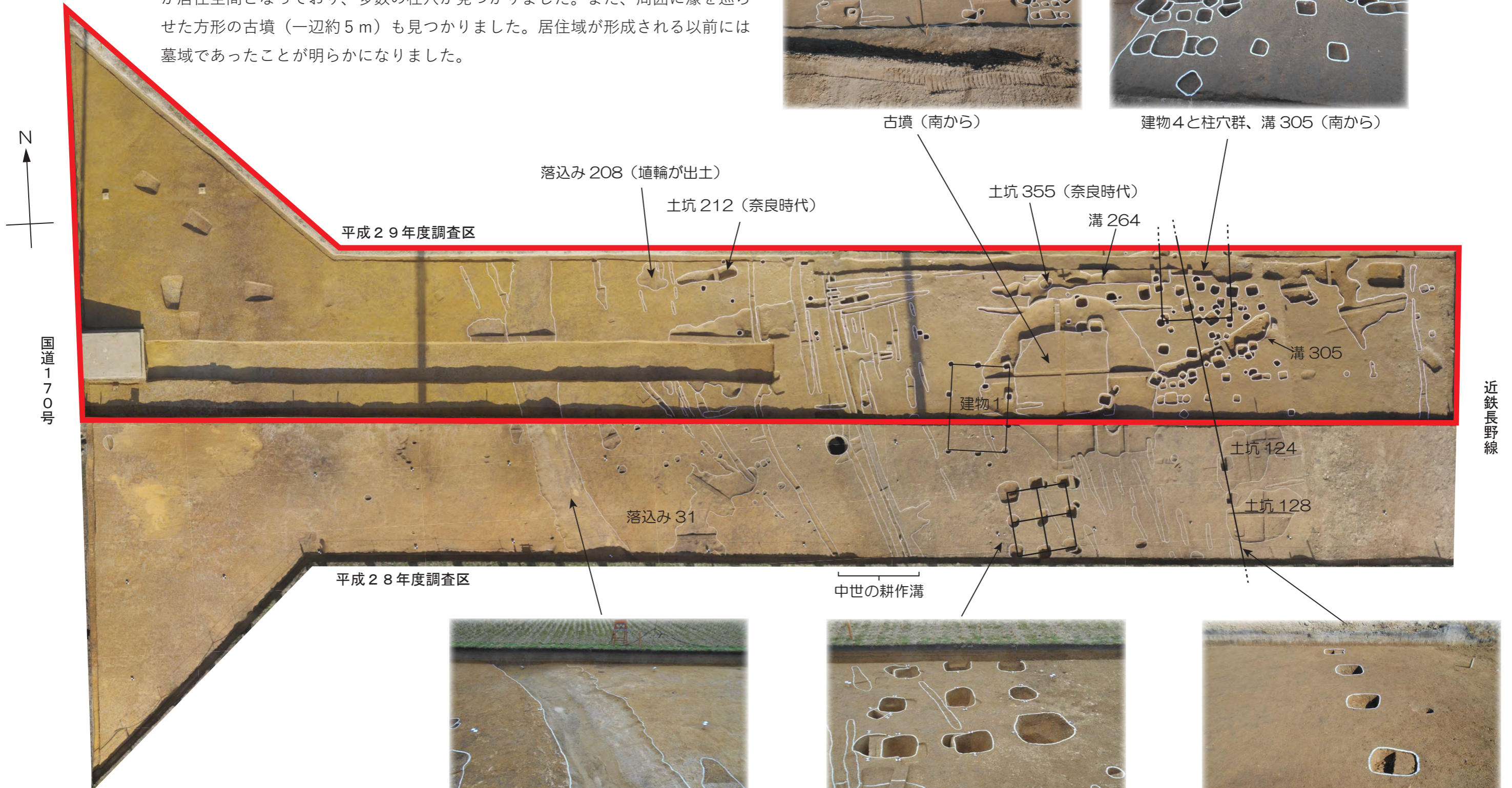
溝001は、古墳時代後期(6世紀)に集落の縁辺に掘られたもので、その東側が居住空間となっており、多数の柱穴が見つかりました。また、周囲に濠を巡らせた方形の古墳(一辺約5m)も見つかりました。居住域が形成される以前には墓域であったことが明らかになりました。



古墳(南から)



建物4と柱穴群、溝305(南から)



溝001(北から)



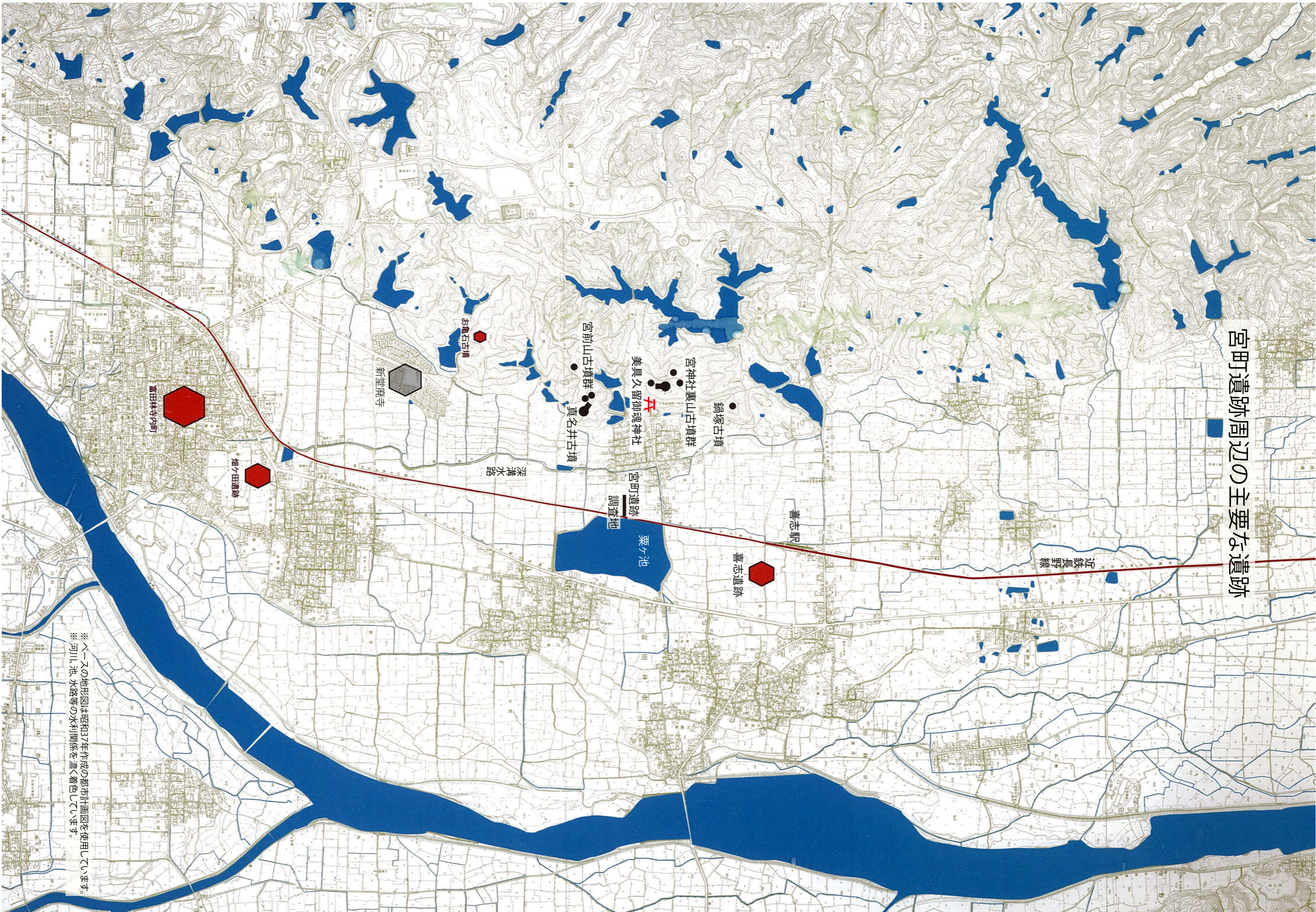
建物2(北から)



柵列(北から)



宮町遺跡周辺の主要な遺跡



※ヘーヌの地形図は昭和37年作成の都市計画図を使用しています。
※河川、池、水路等の水利関係を濃く着色しています。